



## (58) 女性の働き方改革と仕事場づくり

### これまでは

- ・奈良県女性(20~64歳)の就業率は、全国最下位(62.8%)であるものの、平成22年から5年間の伸び(6.3ポイント)は全国1位です。
- ・第1子出産後も仕事を継続する割合が平成25年から5年間で4割から5割に増加しました。
  - 女性の希望をかなえ、女性が活躍できる気運醸成の環境を整備するため、「なら女性活躍推進倶楽部」を設立しました。登録会員数114企業(577事業所) ※令和2年1月現在
  - 「なら女性活躍推進倶楽部」企業等と連携し、県内の女子大学生や再就職を希望する女性の就職や活躍し続ける意識の醸成に取り組みました。

### もっと良くするために

女性が就労により能力を発揮できるよう、企業や女性に向けた取組により、企業での活躍や起業等様々な働き方での女性活躍を推進します。

- ・女性活躍が進む企業や、まだ知られていない県内企業の魅力を発信します。
- ・再就職や若年女性に企業を知る機会を提供したり、再就職の準備段階からの支援を行います。
- ・異業種交流会等で女性活躍の先進事例を横展開するとともに、企業の女性管理職の登用等を支援します。

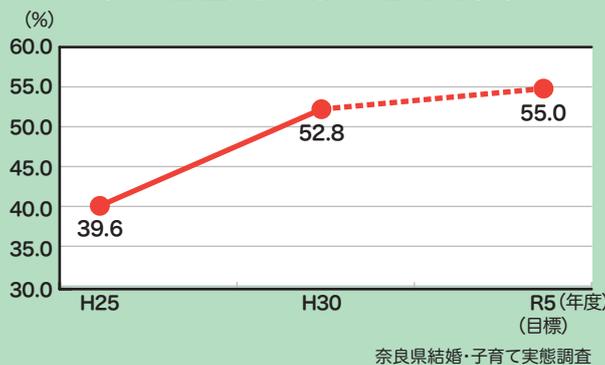
### 目指す姿

令和5年度までに第1子出産前後の妻の継続就業率を55%にします。

出産後も仕事を辞めないで働き続ける女性が  
増えてきているんだね!



第1子出産前後の妻の継続就業率



県内の企業は女性に働き続けてもらうため、時間休暇など様々な工夫をしています。県内企業による働きやすい工夫や企業の魅力をもっと発信していきます。



### 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
企業とともに進める女性活躍の推進	「なら女性活躍推進倶楽部」と連携した会員企業と女性のマッチング支援、会員間交流による女性活躍の横展開の推進、女性のキャリア継続・キャリアアップ支援		
女性への再就職準備相談等の様々な就業支援	女性のための再就職準備段階からの相談・支援、働く女性への相談・支援		
起業をめざす女性に対する支援	創業支援団体等とともに女性の起業支援をトータルコーディネート		



## (59) 結婚支援・出生率上昇

## (60) ひとり親家庭支援

### これまでは

#### 【結婚支援・出生率上昇】

- 県の25歳から39歳の女性の未婚率は41.4%で全国3位であるなど、若者の未婚率が高く、平均初婚年齢が上昇し、晩婚の状況が見られます。
- 平成30年の奈良県の合計特殊出生率は、1.37で全国順位は38位となり、平成29年の1.33(全国順位43位)から0.04ポイント上昇しました。(上昇率3位)
  - ・「なら結婚応援団」の企業・店舗とともに若者の出会いの機会の提供に取り組んできました。

#### 【ひとり親家庭支援】

- 女性のひとり親の約9割が就労しているものの、その半数以上が年収200万円未満という実態があり、女性のひとり親への経済的自立及び生活面での支援の充実が必要です。
  - ・奈良県母子家庭等就業・自立支援センター(スマイルセンター)で、就業相談や就業情報の提供、講習会開催など、就業支援を実施してきました。

### もっと良くするために

#### 【結婚支援・出生率上昇】

- ・企業等と連携し、結婚支援を継続して行います。
- ・「家庭」と「地域」を親が安心して子育てできる環境に変えることにより、出生率向上に繋がります。

#### 【ひとり親家庭支援】

- ・ひとり親家庭の親が経済的に自立できるよう求職者を確実に就職に結びつけるとともに、意識啓発・スキル向上を支援します。

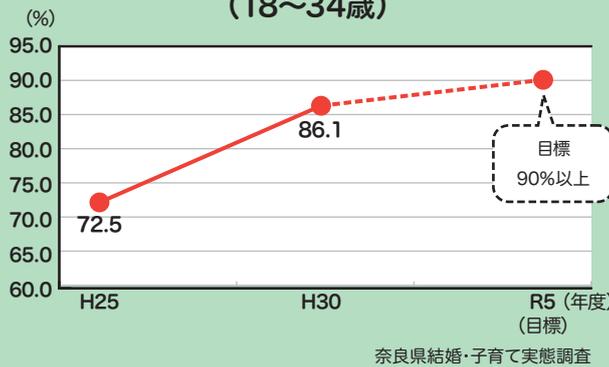
### 目指す姿

**令和5年度までにいずれは結婚しようとする未婚者の割合(18~34歳)を90%以上にします。**

若い人の結婚意識は意外と高いんだね。



いずれは結婚しようとする未婚者の割合(18~34歳)



そうですね。しかし、未婚率は男性・女性ともに高いので、さらに結婚を応援する取組を地域や企業とともに推進します。



### 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
企業等と連携した若者の結婚応援	「なら結婚応援団」による若者の出会いの機会の提供、市町村の結婚応援に対する取組支援		
妊娠期からの切れ目ない子育て支援、多様な主体による子育て支援環境の整備	市町村における子育て家庭支援体制の構築、企業等との連携による子育て応援		
ひとり親の確実な就業のための取組強化	就業支援員等との個別アドバイスの強化、技能取得講習会の開催		
ひとり親の意識啓発・スキル向上の推進	ハローワークとのアウトリーチ強化		